

帯笑園保存会 会報

発行元 保存会事務局
発行責任者 鈴木 泰次
2021年 8月30日
No. 11

コロナ禍での休園と令和二年度早々

令和二年の年明けからコロナ禍のまん延が懸念されていたところでしたが、令和二年度に入ってから早々、市教育長名で臨時休園についての通知が発せられました。近年経験したことのない事態となり、帯笑園の運営にも大きな影響が及びることとなりました。

上半期に予定した催しは、すべて中止に

温暖化の影響から開催時期を四月十八・十九日に早めた「桜草の観賞と琴の演奏会」、同二五・二六日に予定した「えびね山野草展」、同二九日に初の開催が期待された「盆栽展」は中止の止むなきに至りました。さらに、感染拡大のおそれが続いたことから五月二三・二四日の「春の山野草展」、六月二〇・二一日の「ウチョウラン展」も開催を自粛することとなり、展示会に向けて準備されて来られた関係の皆さんにはお気の毒な結果となってしまいました。

不要不急の外出を慎むようにとの行政からの指示が浸透し、毎週土日曜日に実施して来た見学者に対する案内についても、極めて不調の状態が続きました。

このようなことから、沼津市が帯笑園の一般公開を行うこととした平成三一年度と令和二年度との利用状況の対比を表にまとめると、上のおりとなりました。



各種の催しが中止される中で、十月三日(土)の夜、薩摩琵琶の演奏会を開催することができました。コロナ感染防止のため、参加者数を四十人に限定したのですが、各地のイベントが取り止めとなる中での開催だったこともあり、申し込みはすぐにいっぱいになるほど人気が高く、満足感に包まれた演奏会となりました。

錦心流琵琶全国一水会の薩摩琵琶奏者の久保田湖水先生と森寄螢水さんの名演に観覧者の心は一つになり、演奏会にふさわしい秋の夜半となりました。

秋の夜半に琵琶の音が響く

こうした状況の中で、外に出て原・浮島の恵まれた自然に触れようと、口火を切ったのは、原地区コミュニティ推進委員会が主催した自然観察会でした。九月末に十八名が参加して帯笑園の庭を見学しました。

原・浮島の自然観察会で指導をされる鈴木昌宙先生の丁寧な案内により、普段は見過ごしてしまいう帯笑園の貴重な植物に触れることが出来たのでした。





三密を避けるため間隔を置いて座り、マスクを着用しての受講となりました。



「帯笑園ガイドの会」が研修会を開催
 令和二年度に入り休園が続く中で、帯笑園ガイドの会の皆さんが園の再開を機会に、来園者に十分なご案内ができるようにと、自主的な研修会の開催を重ねて来ました。原地区センターが利用できないため、帯笑園の西蔵を会場とし、三密を避けて一回の参加者を七人とし、同じ内容で四回開催するなどしてきました。このような開催方式をとって、令和二年度中に五回(延べ二十回)開催しました。
 テキストに、小野佐和子先生の書かれた帯笑園に関する論文や『沼津市史資料編近世2』『同通史編近世』を選び、そこに書かれている帯笑園の歴史や文化に関する事柄について学びました。
 ガイドの会の皆さんは、皆勤賞をもらえるほど熱心に受講されました。

園芸部が本格的に活動を開始!



帯笑園のポタンの花壇を手入れする園芸部の皆さん

長年にわたり、帯笑園の管理に携わって来られた植松靖博氏から交替の申し出があったのを機に、園芸部が中心となって市の受託業務を継続することとなりました。園内の除草作業だけではなく、中低木の枝の剪定、害虫駆除、建物内部・外観の点検など多岐にわたりますが、令和二年度下半期から二六名の部会員が活動を始めました。

杉本伸三副会長の発案によって発足した「帯笑園園芸部」は、草花や樹木を愛でて、折節の変化を楽しむことを目的としたものでした。そのうちに、会員の中から、帯笑園の歴史に根差した植栽の復活を目指したという声が上がリ、会としてそういう方向を探ることになりました。

毎月1日・2日は
ワンツースール
 鮮魚・すし
 惣菜・仕出し
 ご利用ください
(有) 水村魚店
 ☎966-0024

WATANABE BEEF
 ふじやか牛 ふじやま初牛
 白身鶏こんびーふ 白身鶏ベーコン
 自然と人、丹念に、丹念に、夢を織り込んだ逸品をお届けします……
 牧場から直車へ
(株) 渡邊精肉店
 販売店: 沼津市原345 ☎055-966-0140
おいしい牛肉をお届けします!

朝起きると
だるくない??
 若甕で疲れ知らずの毎日を!!
 朝一番のお湯割りがおすすめです (1本600円+税)
 初めての方、試飲できます(無料)
東京堂みどり薬局
 原駅前・駐車場あり(966-0163)

ご購入に各地から
取り寄せた地酒は
 いかがでしょう。
 本格焼酎も100種
 取り揃えております。
ナカジマ 酒店
 東町(スルガ銀行隣) ☎ 966-0029

秋の山野草展

十月十四、十五日

愛鷹山草会による秋の山野草展が開催された。門入口付近から西蔵手前の通路、西蔵南の多目的広場を会場に、同会会員による自慢の作品が多数展示された。コロナ禍でなかなか開けなかった展示会が開催できたことを喜ぶ声が聞かれたのが何よりだった。



ランプシェード作品展

十二月二〜三日

地元の陶芸家真柄光男さん、ステンドグラス制作者森のり子さん、中嶋由紀子さんによるランプシェード作品展が臨春亭を会場に開催され、ファンタスティックな魅力にあふれた多くの作品が披露された。



専門業者による指導

園芸部は経験者ぞろいとは言うものの、市の施設を管理する以上、樹木の剪定には時期を選び、適切な方法で行わなければなりません。そこで、園芸部員の紹介により専門家に指導をお願いし、実地に講習を受けることにしました。

園内の整備・補修に着手

園内の補修や改善が望まれる場所について、部員が培った経験や技能を活かして、改修する作業が行われました。園記碑の周りの歩きにくい部分の改良、臨春亭に付設する傷んだ竹垣の新設、芍薬の花壇の土の入れ替えや養生などが、大勢のボランティアの手で行われ、懸案となっていた課題が一つ一つ解決を見ました。



専門家による実地講習と西蔵での座学研修会の様子



春の七草学習会 一月七日

春の七草は知っていても、実際どんな植物なのか知らない人は案外多いようです。園芸部では鈴木昌宙先生の実地の指導で浮島が原で七草を摘み、七日の朝に粥にして食べる催しを行いました。

クリスマスローズ展 二月二三、一四日



人気の高いクリスマスローズの展示会を杉光園芸さんの協力を得て、今年も開催することができました。原地区でも愛好者の方々が栽培をしていると聞きしますので、今後、協同して開催できたらと期待が膨らみます。

ハスの植え替え 一月二十二日

恒例のハスの植替えを園芸部一四人が参加して行いました。これまで臨春亭前庭に並んでいた鉢を生垣に沿った園路の脇に移しました。また、門を入った右手の西蔵北側に置かれていた鉢も整理整頓するなど大変な作業でしたが、三つの作業班に分けて手際よく終えることができました。美しい花を咲かせるために、今後ともご協力をお願いいたします。



芍薬花壇の手入れ

咲いたときには関心を寄せるものの、咲き終わった後に、何もしてあげなければ芍薬もカンシヤクを起こします。これまでは十分な面倒を見て上げられなかった植栽にも園芸部で手入れをしてゆくことにしています。



梅樹の移植

帯笑園入口にシンボルツリーとなる紅梅・白梅を移植したいと、有志が根回し作業を行いました。数年を経ずとも、二月には梅のよい香が来園者を楽しませられるでしょう。



アップルスイートパイと UFOパンを よろしくね

マクドナルド 松屋
沼津市原396-1 ☎966-0206

おなじみ原駅前通りの松屋です
営業9時～19時 日曜休み



tel. fax. 055-966-0152

ハニーサックル
198 HARA, NUMAZU-SHI
www.honeysuckle-cake.com

お誕生日ケーキ
ご贈答用菓子

Pâtisserie
LA PORTE D'OR
ラポルトドール
沼津市原77-2
☎055-967-8700

旭 医院

原 285-1 ☎ 055-966-0031

明治時代、街道筋に医院がなかったころ、植松本家に招かれて開業し、現在は4代目が継いでおります。爾来、私どもは原の町を愛し、帯笑園を誇りに思っております。帯笑園保存会の益々の発展を祈念します。

